

同窓会報

南園

第 64 号

発行所

〒861-4105
熊本市南区元三町5丁目1番1号
熊本県立熊本農業高等学校

南園会

TEL (096) 357-8824
FAX (096) 357-8824

〔校刊〕
敬天愛人
〔綱領〕
慎思力行
剛健進取
俊素礼謙
自制協同

合資会社 **BC 櫛山**
kushiyama
熊本市中央区本町4丁目3-22
TEL 354-3515



南園会会長 園田 高信
〔昭和四十五年（六十七回）
農業科卒〕

母校創立百二十周年記念事業を終えて

昨年十一月九日の創立百二十周年記念式典で、生徒代表の東田蒼汰君が「身につけてきた南園魂を胸に刻み、周囲への感謝を忘れず、未来を照らす人材になることを誓います」と述べたのを聞き、創立百二十周年記念事業の成功を確信いたしました。在校生諸君が、熊農の歴史と伝統を確実に継承しています。

平成二十七年の準備委員会の創設から二十八年には記念事業実行委員会が発足し活動を開始しました。資金調達、広報宣伝、名簿作成、式典祝賀、記念誌作成、記念事業の六部会が精力的に事業に取り組みました。

平成二十九年六月の会員名簿の発刊に始まり、募金活動や各種広報を随時行いました。御芳志いただいた浄財は、在校生の教育活動への支援等を中心に活用しました。記念事業では、初代河村校長の住居・農場跡である「日渉園跡」に石碑を建立し、熊本地震で損傷した本校にある松田喜一翁塑像の修復を行いました。記念誌は、今回も岡村良昭先生に執筆編集いただき、テーマを「仰ぎ見る『熊農三聖』顕彰」として格調高く仕上がっています。中心行事の記念式典並びに記念祝賀会も内外から高い評価をいただき成功裡に終了しました。

記念事業会の境岡嗣実行委員長をはじめ各部会長や委員の皆さんには献身的に活動いただき深く感謝申し上げます。また、学校、PTA、南園会員各

位や企業等、御支援、御協力いただいた全ての皆様からお礼を申し上げます。最後に、母校熊本農業高等学校の益々の発展と会員の皆様の御健康と御多幸を祈念し、お礼の御挨拶いたします。

創立百二十周年記念事業を終えて

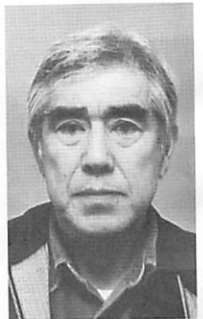


学校長 森山 大介

熊農三聖 W・S クラーク、河村九淵、松田喜一。初代校長河村九淵先生は札幌農学校に第四期生として明治十三年に入学、ク

ラーク精神と伝統を受け継がれ「実践」「実習」「身をもって範を示せ」を一貫して叫び続けられ校訓「敬天愛人」や「其手足を低き地に働かし心を高き天に置きよ」の名言は生まれました。松田喜一先生（本校三回卒）は卒業後も「河村遺訓」とその教えに導かれ「昭和の農聖」と呼ばれました。この記念事業では河村校長の就任後明治三十五年、熊

本市谷尾崎の果樹見本淵「日渉園」石碑の建立と本校百周年百十周年百二十周年と母校創立記念誌を岡村良昭先生（九十歳）に執筆編集していただきました。それが「仰ぎ見る『熊農三聖』顕彰と創立百二十周年記念誌の発行であります。今後百三十周年二百周年と永遠に熊農魂「南園魂」が受け継がれることを祈念いたします。



熊農創立百二十周年記念事業を終えて

平成の時代も終わりに近づき、その締めくくりともいふべき年に熊農創立百二十周年を迎えることが出来ました。そして盛会の内に式典・祝賀会を挙行いたしました。まさに南園魂の集大成であろうと思います。実行委員会におきましては約三年前から準備を進め、目標に向かい取り組んで参りました。

名簿作成部会はいち早く取り組んでいたいただき、資金調達部会においては熊本地

震の直後で大変ご苦労されました。記念事業部会は母校への支援や初代校長河村氏の住居跡「日渉園」の記念碑設置等、広報宣伝部会は百二十周年の看板設置等、式典祝賀部会も当日の企画・運営、素晴らしいものでした。最後に、記念誌においては岡村先生に頼りきりで、後世に誇れる記念誌が出来ました。部会長を中心として、各部会の連携と並々ならぬ努力と尽力があったからこそ、大成功に



氏 平 憲 鶴田
つるたけんぺい

祝 秋の叙勲

平成三十年

秋の叙勲の受章者が発表され、鶴田憲平氏が瑞宝小綬章に選ばれた。鶴田氏は本校元校長（日十九年四月、日二十年三月）で功労概要は教育功労。

※事務局にお知らせのあった方を掲載しております。ご情報をお持ちの方は事務局までお知らせ下さい。

祝 創立120周年記念式典



熊本農高創立百二十周年記念式典開催される

「農の力」受け継がれて百二十年 永遠の実りをこれからも

平成三十年十一月九日(金)、熊本農高体育館にて創立百二十周年記念式典が行われ、来賓や表彰者、職員や全校生徒八百六十名(男子四百三十名、女子四百三十名)を含む約一〇〇名が参加しました。

式典は物故者への黙祷から始まり、国歌斉唱、学校長式辞、熊本県教育委員会挨拶(木之内均氏)、来賓からは二名(熊本県議会議員・末松直洋氏、熊本県公立高等学校長会会長・和久田恭生氏)の御祝辞を頂きました。また、百十周年以降の歴代の校長先生に感謝状が贈られました。その後、同窓会長挨拶、PTA会長挨拶と続き、生徒会会長の東田蒼汰さんが生徒代表誓いの言葉を述べました。最後は体育館外まで響き渡る、熊農生の力強く美しい校歌斉唱で閉じました。

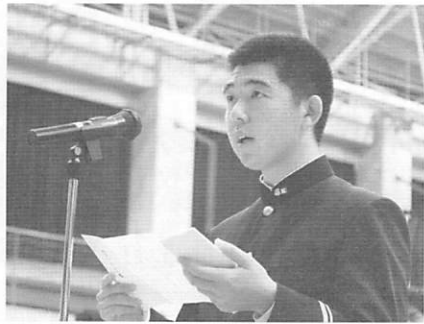
式典後に記念講演と表彰式も行われ、記念講演では宮川洋蘭の宮川将人氏(日九年園芸・果樹卒)が在校生に熱いメッセージを送りました。表彰式では百二十周年記念事業

スローガンの紹介「農の力」受け継がれて百二十年 永遠の実りをこれからも(日二十九年生活卒・栗崎美月さん)、記念事業目録贈呈、歴代南園会会長表彰、南園栄誉賞、高額募金表彰者代表、親子三代四代表彰が行われました。

夜は熊本ホテルキャッツルで記念祝賀会が開かれ、藤木真也氏(S六十年畜産卒・参議院議員)など関係者約五百名が出席しました。福嶋由記氏(日六年生活卒・ソプラノ歌手)の美声に始まり、川尻の瑞鷹酒造の樽酒で鏡開き、大相撲九州場所を控えた正代関(日二十一年畜産卒・肥後ノ城(日十五年農業土木卒)芳東(日八年食品工業科卒)らがステージに上がって、司会の常盤よしこ氏(日十七年農業経済卒・タレント)から質問をされる場面もあり、祝賀会は大いに盛り上がりました。西村直子氏(S五十二



年生生活卒・民謡歌手)の相撲甚句、成松大介氏(日十九年農業土木卒・リオ五輪ボクシング代表)のビデオメッセージも披露されました。



生徒代表誓いの言葉

東田 蒼汰さん【農業経済課科三年】

(前略)高い理想を掲げ輝く未来を夢に見つつ、常に前向きに実習に汗し、友と語り、日々努力精進されてきた先輩方の姿(中略)その熊農の精神は、いま熊農で学ぶ我々在校生にも間違いなく受け継がれています。(中略)毎日の中で、地域の方々や保護者の皆様、先生方などたくさんの方々が、応援してくださっている事に気づかされます。(中略)温かく見守り支え、教える導いてくださることに、在校生一同、心から感謝しています。(中略)地震だけではなく、大雨や記録的猛暑など、何が起るか未来は予測できません。そんな時代だからこそ、自然を畏れ、敬い自然の力を借りて営まれる農業は人に大きな意義あるものを教えてくれます。(中略)南園魂を胸に刻み、周囲への感謝を忘れず、未来を照らす人材になることをここに誓います。(後略)



木ノ内 均 教育委員会 挨拶



森山 大介 校長式辞



和久田 恭生 来賓祝辞



末松 直洋 来賓祝辞



宮崎 紀夫 P T A 会長 挨拶



園田 高信 同窓会長 挨拶



境 国嗣 実行委員長挨拶



園田 高信 南園会会長挨拶



来賓挨拶：藤木真也氏



森山 大介 小学校長挨拶



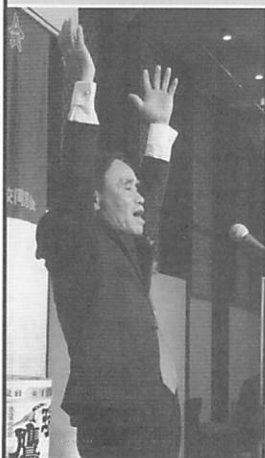
於…熊本ホテルキャッスル

熊本県立熊本農業高等学校創立120周年記念祝賀会

司会：常盤よしこ氏



鏡開き



来賓挨拶：河津 修司氏

万歳三唱…前南園会会長/内村 保善氏



歌唱：福岡 由記氏



相撲甚句(右から西村直子氏・肥後ノ城・正代関・芳東)

記念祝賀会

創立百二十周年記念講演

熊農への感謝の想いと これからへの夢

宮川 将人氏

〔平成九年園芸・果樹科卒〕
〔有宮川洋蘭専務取締役〕
■くまもと☆農家ハンター代表

宮川氏は、現在、熊本県の若手農家百人でつくる「くまもと☆農家ハンター」の発起人で「畑と地域は、自分たちで守る」をスローガンにイノシシ対策を行う。小学校の卒業文集に「子どもに喜ばれる仕事したい。世界一の花屋になる。」と書いていた。好きな言葉は、「返事は、イエスかハイ」笑う門には、福来る」



宮川氏は、熊農での出会いや学びにより、農業が好きになったこと。損得のない一生ものの友人ができたこと。自分の夢に一直線に進めたことなど熊農を選んで本当に良かったと述べられた。特に二年生の時に図書館で手に取った『僕は、旅で生まれ変わる』という本との出会いと三年生の時のアメリカでのホームステイは、その後の人生を方向づけるものとなった。

世界一人旅では、視野を広げるとともにインドで軟禁された話やパスポート盗難に遭ったことや赤痢になったことなど多様な経験は、宮川氏の人としての幅を広げ豊かな感性を育むことになったようだ。また、花や園芸を仕事にできる国は、豊かで幸せな証拠であるとも語られ聴衆も日本に対しての想いを新たにしている機会を得ることができた。

三十四歳の時、過労で倒れ心臓マッサージを経験された後は、「今日が最後の一日ならば」と、人生を見つめ直す機会となられたそうである。本業の洋ラン栽培では、ネット販売

や六次産業化も手掛けるとともに地元への雇用創出など大きな夢も語られた。「くまもと☆農家ハンター」の代表としても農村の存亡を根本から脅かすイノシシやシカなど鳥獣対策の取組でも仲間を募り活動される姿には、郷土愛を強く感じる事ができた。また、捕獲したイノシシの命についても無駄にすることなく活用の方策を考えるなど命に真摯に向き合う姿勢にも熊農の校訓「敬天愛人」の信念と覚悟を宮川氏から感じる事ができた。素晴らしい話を本場にありがとうございました。

(文責 後藤)



記念講演生徒謝辞 富松真帆さん

「日涉園跡碑」建立除幕

岡村良昭〔昭和二十一年(四十四回) 農業科卒〕

本校初代校長河村九淵先生が在任中の明治三十二年、熊本市西部谷尾崎に開設した「日涉園跡」の建立除幕式が平成三十年十一月六日、現地で行われた。森山大介熊農校長、中村洋介副校長、園田高信熊農南園会会長、横田憲章同副会長と建立地所有の谷水晴輔氏と子息の晴児氏らが出席した。ミカンなどの果樹園とした日涉園では河村校長が住居と書齋を建設して家族と共に住み込み、県内各地の農業技術者や市町村長らを招いてミカンの栽培技術を指導、県内各地で果樹の生産を奨励、果樹生産の技術普及センターとして注目された。現在は谷水氏



現所有者の谷水氏親子(左から1人目、2人目)と記念碑を囲んで

サッカー部創部五十周年記念を終えて

本田 慶信 [昭和四十五年(六十七回) 農業科卒]

江津湖の辺りで誕生した熊農サッカー部が本年めでたく創部五十周年を迎えることになり、これまで、たくさんの方々の御支援、御協力、御指導をいただいたことに心から御礼申し上げます。また、数々の全国大会出場の際には、南園会より多大なる御支援をいただき感謝申し上げますとともに、今回の五十周年記念に伴い、新しいユニフォームの贈呈をいただき重ねて御礼申し上げます。

五十周年記念行事では実行委員会を立ち上げ、サッカー部OB交流戦や長崎県の強豪・国見高校を招待しての記念試合、元清水エスパルス監督の小林伸二氏を



国見高校との記念試合

招聘してのサッカークリニックや記念講演、記念祝賀会(ザ・ニューホテル熊本)、グッズ販売や五十周年記念誌の発刊などを行いました。今後、次の百周年に向け、六百名を超すOB各位の御活躍を祈るとともに、現役の皆様が再び全国の舞台上に立てるよう、「古豪復活」に向け、更なる努力をされませう、期待しています。

南園みずほ会 第十八回 先進地視察研修会

富田 信子 [昭和四十四年(六十六回) 生活科卒]

秋空の下、十月二十八日に宇土市の寺尾農園・寺尾義明氏(S四十二年食品工業科卒)を二十二名で訪問しました。寺尾氏はハウス食品に二十七年間勤務後、

早期退職し、塩田にがりを使って無農薬栽培に取り組みられています。数十種類の野菜は「安心・安全・美味

しい」と口コミで広がり、近隣はもとより全国からの注文に夫婦で頑張っておられます。

塩田にがりとは海水から塩を造るときに残る液体で海の微量要素をバランスよく含んでいて、希釈して葉面散布や土壌灌水として使用されています。また、



農産食品会総会開かれる

平成三十一年二月九日(土)ザ・ニューホテル熊本にて南園会農産食品会総会が開かれ、七十一名



平成三十一年二月九日(土)、KKRホテルにて南園会青年部会総会が開かれました。新会長には福田誠也氏(日八年農業卒)が選出されました。南園祭で出店や十一月二十六日に本校体育館で実施したレクリエーション大会の様子も報告されました。平成三十一年度は平成八・九年卒の役員が中心となつて活動します。

青年部活動報告

が出席しました。会は三年ごとに開催されており、在校生による発表や懇親会も行われました。

平成20年卒同窓会



平成三十一年一月四日(金)熊本ホテルキャッスルにて平成二十年卒の同窓会が行われました。全七学科のクラス担任の先生方にもご出席いただき、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。また十年後に集まりたいと思います。



宇土市轟水源にて

天然にがり は、タケノコの灰汁抜きや梅のカリカリ漬けに、その他に便秘症や花粉症の方も改善があるそうです。近くの畑で塩田にがりを使ったサツマイモ掘りを楽しみ、

頂いた豊稔塩や果菜をお土産としていただきました。午後には全国初の国重要有形民俗文化財に指定されている「雨乞い大太鼓収蔵館」を見学しました。大太鼓二十六基、その中で最大は面径一三〇cm、胴周五一三cm、胴長二〇七cmもあります。他に面が上向きドラ太鼓三基、関連資料二十八点が展示され、皆で「ドンドンドン」と打ち鳴らすと、千六百年代から続く先人たちの魂が蘇ってくるようです。すぐ近くに水道としては日本最古の日本名水百選の轟水源があります。帰路サンサンうきつこ字城彩館も見学、有意義な研修会の一日でした。

創立120周年記念 第32回 南園会ゴルフ大会成績

平成30年9月28日(金)開催 ■くまもと城南カントリークラブ

順位	氏名	アウト	イン	グロス	HD	ネット
1	吉岡 武彦	42	45	87	16.8	70.2
2	米村 本熊	54	47	101	30.0	71.0
3	末野 節男	46	53	99	27.6	71.4
4	福島 至	46	47	93	21.6	71.4
5	古田 信幸	45	42	87	15.6	71.4
6	内田 新雄	46	41	87	15.6	71.4
7	伊藤 重和	41	45	86	14.4	71.6
8	穴見 春樹	44	47	91	19.2	71.8
9	村上 浩司	46	51	97	25.2	71.8
10	岩下 孝利	50	46	96	24.0	72.0

順位	氏名	アウト	イン	グロス	HD	ネット
1	渡辺 英博	40	36	76	3.6	72.4

ニヤピン賞…中山正明、石原健一、赤松良司
ドラコン賞…内田新雄、垣原勝治、長木一美

チャリティ募金の収益金 **¥103,500** は、南園会文化体育振興基金に寄付致しました。ご協力ありがとうございました。



平成30年度

第五十回全九州高等学校 新人ボクシング競技大会結果

期日：平成三十一年一月十七日(木)～二十日(日)
会場：福岡県立スポーツ科学情報センター
(アクシオン福岡)

- 男子フライ級……第3位 川瀬 克弥 (K1)
- 男子バンタム級……第1位 江崎 由 (A2)※
- 女子ライトフライ級……第2位 平尾 虹海 (Z2)
- 女子フライ級……第1位 井上 歩 (Z2)※
- 女子バンタム級……第2位 森 こゆき (Z2)
- 女子ライト級……第1位 佐伯 亜海 (H1)※

※全国選抜大会出場権獲得
【平成30年度第30回全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ】

成松 大介 選手

全日本選手権

平成三十年十一月十八日に茨城県水戸桜ノ牧高常北校体育館で第八十八回全日本ボクシング選手権大会決勝が行われ、成松大介氏(H二十年農業土木卒)東京農業大学↓自衛隊体育学校ノリオ五輪日本代表)がライトウェルター級で優勝した。成松選手の全日本選手権優勝



八度目の優勝

勝は8度目。東京五輪でのメダルを目指す。

KAMIMATSU BANGUINE



守田朋仁氏(激励の言葉)

平成30年度 同窓会 入会式

二月二十八日(木)に本校体育館にて同窓会入会式が行われ、来賓として森山校長・中村副校長、卒業を翌日に迎えた三年生・南園会役員・事務局及び教職員が出席しました。激励の言葉では守田朋仁氏(平成八年農業土木科卒)熊本県庁土木部道路都市局道路整備

平成30年度 同窓会 入会式

入会者代表宣誓(米田龍次さん)



農業クラブ全国大会

鹿児島大会結果

【農業鑑定競技】

- 優秀賞 畜産の部……中野経成(畜産科3年)
食品の部……増田隼也(食品工業科2年)
……藤井温志(食品工業科2年)
……濱田結愛(食品工業科2年)
農業土木の部……本郷雅志(農業土木科3年)
生活の部……猿渡佳琳(生活科3年)

【家畜審査競技】(肉牛の部)

- 優秀賞……塚元太陽(畜産科2年)



委嘱状交付(A井上嵩太さん)

- 平成三十年卒業生各クラス代表者
- A…井上 嵩太、藤田 ミウ
 - H…坂本 頼吾、大馬 夢璃
 - Z…宮崎 健斗、本田 明日香
 - L…橋本 紗弥、駒込 琴美
 - K…藤田 翔、河津 思音
 - F…園田 稀玖斗、渡邊 千紗
 - E…林田 久遠、平野 光人

課参事)が東日本大震災の復旧・復興のために宮城県石巻市で勤務されたことなどを交え、卒業生に激励の言葉を送りました。委嘱状交付者は左記の通りです。



平成三十年度

卒業証書授与式

三月一日(金)十時から本校体育館で卒業証書授与式が行われ、七学科二百八十四名が熊農を卒業しました。

在校生代表送辞は生徒会長の倉岡さん、卒業生代表答辞は前生徒会長の東田さんが想いを伝えました。在校生による「蛍の光」、卒業生による「仰げば尊し」、全員での「校歌斉唱」では熊農生の力強さが溢れていました。



2018年度 県農業コンクール

南園会 同窓7名が受賞!!

経営体部門

【優良賞】

井上 邦広 (熊本市南区、S59年農業科卒、トマト・水稲)

新人王部門

【優良賞】

- 田上 勝 (玉名市、H4年畜産科卒、ナス)
- 木ノ内勇樹 (阿蘇市、H20年畜産科卒、肉用牛)
- 中山 雄介 (熊本市北区、H23年農業科卒、アスパラガス)

地域農力部門

【優良賞】

- 中島 克幸 (S48年園芸科卒、野菜ソムリエの会と連携し料理教室など)
- 本田 隆一 (S43年畜産科卒、廃坑跡地をカフェやギャラリーに活用など)
- 福山 幹雄 (S34年農業科卒、減農薬、減化学肥料で高付加価値物を生産など)